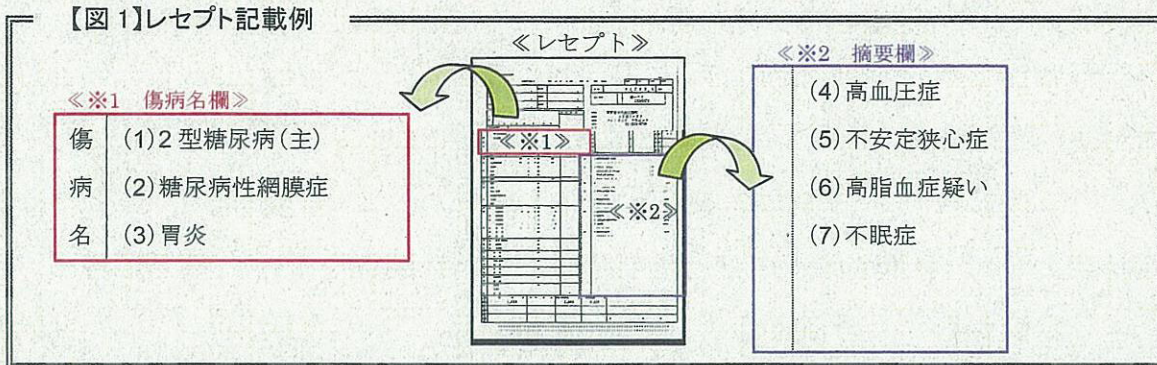


レセプトの傷病名

- 皆様ご覧になっている JMDC のデータはレセプトから作成されている、ということは既にご存知かと思えます。(レセプトとは医療機関から保険者への医療費の請求明細書を指します。)今回は JMDC のレセプトデータを扱う上で知っておきたい『傷病名』に関する事をご紹介します。



- 傷病名は、レセプトの傷病名欄(図1※1)に記載します。しかし現在傷病名は、明確な記載方法の定義がなく様々な書き方があります。ここでは『2型糖尿病』を例に、レセプトに記載されている傷病名をいくつか紹介します。

【表1】レセプト記載:2型糖尿病

・2型糖尿病	・成人型糖尿病
・糖尿病(2型)	・インスリン非依存型糖尿病
・インスリン非依存性糖尿病	・2型糖尿病性腎症
・糖尿病Ⅱ型	・2型糖尿病炎
・非インスリン依存糖尿病	・インスリン抵抗性糖尿病 他

母集団約 32 万人のレセプトに出現している傷病名は約 25 万種(2005 年現在)あります。表 1 で挙げた『2 型糖尿病』だけでも約 190 通りあります。

- 次に、レセプトに記載されている傷病名の数(併病数)を見てみました。図 1 のように、1 枚のレセプトに複数の傷病名が記載されています。傷病名欄(図 1※1)の(主)とはその月の診療においてメインとなっている傷病を示す印です(複数つく場合もあります)。この傷病名欄(図 1※1)に書ききれない場合は摘要欄(図 1※2)に記載します。32 万人の母集団における 2005 年 1 年間のデータをみたら最大 51 個もの記載がある患者が存在しました。
- レセプトの傷病名は、大変乱雑に、また、複数の傷病名が記載されています。JMDC では、レセプトに出現する傷病名を分析しやすいよう標準化し、データ化しています。皆様が JMDC MDB (Medical Data Bank) を扱う上で基本的な情報として、今後もレセプトについてご紹介していく予定です。